

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月 2日 更新

事務事業名		セミコンテクノパーク中央公園管理負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	大塚 勝己
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	大塚 裕貴
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全			所属班	都市計画班	(内線)	5264
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 2	事業連番 10125	根拠法令 都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県が造成した、第2テクノパーク（現セミコンテクノパーク）内に整備されたセミコンテクノパーク中央公園について、管理負担金を支払う事業 当該公園が合志市と菊陽町にまたがって設置されていることから、その管理手法については合志市と菊陽町との維持管理協定（商工振興課にて協定締結）が結ばれている。協定により、公園の管理は菊陽町がおこない、合志市はその管理経費（光熱水費、樹木・トイレ施設の管理費等）を面積割り（合志市35.5%）にて負担金として支払う。
【業務の流れ】	予算編成等に係る菊陽町との打合せ（管理作業内容や大型事業・修繕等の有無を確認）・負担金支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（負担金）
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)		5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
セミコンテクノパーク中央公園の管理について、菊陽町と協議・実施状況を確認のうえ負担金を適正に処理した。		菊陽町との打合せ・実施状況確認・負担金支払い
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 打合せ回数	回	管理経費の上昇に伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ ア: セミコンテクノパーク中央公園		→ ア: 当該公園の面積(合志市所有分)
		(単位) m <sup>2</sup>
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ ア: 適正に管理することにより利用者が安全快適に利用できる		→ ア: 当該公園に係る苦情件数
		(単位) 件
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
苦情件数は管理状況を示す指標となるため		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	回		2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	m <sup>2</sup>		8,777	8,777	8,777	8,777	8,777	8,777	8,777	0
③ 成果指標	件		0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,585	1,771	1,800	1,997	2,000	1,800	1,800	
(A) 事業費計	千円	1,585	1,771	1,800	1,997	2,000	1,800	1,800	0	
(A)のうち指定経費	千円	1,585	1,771	0	0	0	2,000	2,000	2,000	
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	人		3	3	1	3	1	1	1	1
延べ業務時間	時間		65	45	2	35	2	2	2	2
(B)人件費計	千円		256	175	7	133	7	7	7	7
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,841	1,946	1,807	2,130	2,007	1,807	1,807	7

事務事業名	セミコンテクノパーク中央公園管理負担事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による適正な管理が実施されており目標達成はできると考える
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 達成状態を維持するものとする
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 セミコンテクノパーク中央公園に特化した事業であり類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町による適正な管理が実施されており、削減の余地はない。 なお、人件費単価や電気料単価の高騰などが負担金にも反映されることとなるため、今後事業費が大きくなることも考えられる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数と時間で行っており削減余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰もが利用可能であり、公平性は保たれている
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が所有する公園であり、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

菊陽町による管理経費について、面積割りにて負担金の支払いを行った。  
近年、人件費単価や電気料の高騰もあっていることから、現状と同じような維持管理を継続したとしても、事業費が今後大きくなることが考えられる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						